

編集方針

編集方針

当社グループは、株主・投資家の皆さま、お客さま、取引先さま、国際社会、地域社会の皆さま、従業員との信頼関係の構築と地球環境への貢献が、企業価値の向上につながると考えています。当社グループの事業活動やサステナビリティ活動をステークホルダーの皆さまに報告するため、2009年度より「NTNLレポート(統合報告書)」を発行しています。本レポートをステークホルダーの皆さまとの対話ツールとして活用し、当社への理解を深めていただくことで「なめらかな社会」の実現に寄与してまいります。

対象期間と範囲

対象期間 2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)
一部2026年度の活動も含みます。

対象範囲 NTNグループ
一部NTN単体の報告も含みます。

参照ガイドライン

以下のガイドラインなどを参考に情報開示の充実を図っています。

- ・IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」
- ・SASB(米国サステナビリティ会計基準審議会)スタンダード
- ・GRI(Global Reporting Initiative)
「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
<https://www.ntn.co.jp/japan/csr/gri.html>

免責事項

本レポートには、当社の将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、本レポートで述べられている見通しと異なる可能性があることをご理解くださいますようお願いいたします。

NTNのコミュニケーション



本レポートは、財務・非財務情報の中でも特に重要度が高い事柄を中心に掲載しています。財務情報についての詳細は、有価証券報告書や決算説明会資料をご確認ください。また、サステナビリティ活動については、Webサイトにて取り組みを詳しく紹介しています。

編集後記



コーポレート・コミュニケーション部担当
グループ経営本部
副本部長
執行役

孝橋 宏二

「NTNLレポート2026」をお読みいただき、ありがとうございます。

本年度は、中期経営計画「DRIVE NTN100」Finalの2年目の成果と課題を総括するとともに、次なる成長を目指す取り組みを紹介しました。経営陣によるメッセージに加えて、次世代を担う若手管理職が率直な思いを語る企画も盛り込みました。経営と現場が一体となって変革を推進し、持続可能な成長を目指していることをご理解いただければ幸いです。また、サステナビリティに関する情報は、WEBサイトでより網羅的に詳細を開示し、透明性と利便性の向上を図っています。

統合報告書は、企業の現在地だけでなく、将来に向けた方向性や可能性をお伝えする大切なコミュニケーション・ツールだと考えています。本レポートが、当社への理解を深めていただくきっかけとなり、ステークホルダーの皆さまとの建設的な対話につながることを願っております。今後とも皆さまからのご意見・ご期待に真摯に向き合い、企業価値向上に向けた取り組みと情報開示のさらなる充実に努めてまいります。最後に、本レポートの制作にあたり、社内外の多くの関係者の協力をいただきました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。



「NTNLレポート2026」制作事務局メンバー